2026年11月11日

各　位

会 社 名　　株式会社アビスト
代表者名　　代表取締役社長　　進　　顕
（コード：6087、東証スタンダード）
問合せ先　　執行役員 CFO 経営戦略本部長 大島 昂祐
（TEL 0422-26-5960）

2026年9月期 取締役会実効性評価結果の概要について

当社は、当社の持続的な成長と企業価値の向上、社会の持続的発展への貢献のための基盤として、コーポレートガバナンスを経営上の重要な課題ととらえております。このたび、2026年9月期に開催された取締役会を対象に実効性の評価を実施し、その結果が取締役会において報告・審議されました。以下のとおり、評価結果の概要を公表いたします。

記

１．評価方法・プロセス

・2026年9月期を評価対象期間として、下記6項目（設問数全24問）について実効性の評価アンケートを実施し、その回答の集計結果をもとに取締役会において課題や今後の取り組みについて協議いたしました。（2026年9月実施）

(1) 取締役会の構成
(2) 取締役会の運営
(3) 取締役会の付議事項
(4) 取締役会を支える体制
(5) モニタリング
(6) 投資家・株主・その他ステークホルダーへの対応

・実効性評価に関するアンケート結果に基づき、当社取締役会の現状及びさらなる向上のための対応方針について議論（2026年9月実施）

・対応方針についての議論を踏まえて、取締役会にて実効性評価及び今後の対応方針を決議（2026年11月実施）

２．分析・評価結果の概要

上記による評価の結果、当社取締役会は上記評価項目について適切に機能しており、取締役会の実効性は確保されていることを確認いたしました。
一方、中長期的な企業戦略及び中期経営計画に関する審議についてはさらなる充実化が望まれるとの認識が共有されました。

３．今後の取り組み

当社取締役会は、今回の実効性評価結果に基づく課題に対して、取締役会の更なる実効性向上のために必要な取組みを実施し、改善に努めてまいります。

・中長期的な企業戦略に関する審議の強化

（取り組み内容）

①重要議案の議論をさらに充実させるために、取締役会の年間付議事項を見直し

②社外取締役と執行役員の対話強化による取締役間の情報格差の解消と議論の活性化

４．2025 年 9 月期に設定した課題に基づく 2026 年 9 月期の取り組み実績

課題	実績
構成員の多様性・専門性については事業環境の変化に応じて引き続き検討が必要な点	構成員の多様性・専門性について引き続き検討が必要であるとの課題に対し、取締役会全体のスキルマトリックスについて、各スキルの有無だけでなく、求められる経験の深さや水準といった質的な要件も含めて検討・議論し、スキル要件を見直しました。あわせて、多様性・専門性の確保に向け、社外人材の役員登用も検討いたしました。
短期的および中期的な視点で、審議すべき事項の付議および経営戦略について、より多角的な検証・議論が必要である点	短期的および中期的な視点から、より多角的な検証・議論を行う必要があるとの課題に対し、その前提となる社外取締役と社内取締役との間の情報の非対称性の一層の解消を目的として、社外取締役と執行役員とのコミュニケーション機会の充実を図りました。

以上